

臨床研究に関する情報公開について

研究課題名	自治医科大学における地域医療学関連実習の教育効果に関する研究
研究機関の名称	自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門
研究組織	研究代表者 自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門 教授 小谷 和彦 共同研究機関 国保白鳥病院 副院長 廣瀬 英生 中津市立中津市民病院 産婦人科 医師 佐藤 新平
研究対象	2018年度から2022年度にかけて早期体験実習（1年次）、地域福祉実習（2年次）、地域医療臨床実習（5年次）、多職種連携実習（4、6年次）、都道府県拠点病院実習（6年次）、選択地域医療臨床実習（5～6年次）を受講した自治医科大学医学部学生
研究の目的・意義	医学部学生が地域医療学を理解することは本学の使命とも符合して、必須の学修事項です。このため、本学では地域医療学に関連する実習を考案してきました。各実習には文部科学省が定める医療教育モデル・コア・カリキュラムに準じた到達目標が設けられています。本研究では、一連の実習の学修成果物（既存資料）から学生の学修の様子を収集して分析することで、実習の教育効果を把握し、日常的な教育業務を評価することで今後の実習プログラムの改善につなげる点に意義を持ちます。
研究方法	地域医療学部門が保有するレポートならびにアンケート回答用紙と、Moodleに提出された資料を使用し、その記述ならびに回答内容に対する半定量的分析や質的分析を自治医科大学と共同研究機関とで行い、実習で得られた学びの特徴や構造を教育効果として検討します。
研究期間	許可されてから2025年3月31日まで
研究に利用する情報	2018年度から2022年度にかけて実施された医学部1年の「早期体験実習」、同2年の「地域福祉実習」、同4年の「多職種連携実習」、同5年の「地域医療臨床実習」、同6年の「多職種連携実習」、「都道府県拠点病院実習」、同5～6年の「選択地域医療臨床実習」で提出されたレポートならびにアンケート回答用紙とMoodleに提出された資料を利用します。レポートならびにアンケート回答用紙にある学籍番号と氏名は第三者が塗りつぶし、個人を特定できないようにしたコピーを利用しデータ化します。moodleからは個人を特定する情報を含まない状態のデータを抽出し解析します。今回のデータ収集において、対象となることを望まない場合には対象から外させていただきますので以下の研究責任者までお申し出ください。ただし、その時点で既に匿名化されている場合には対象から外すことはできません。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことはありません。
研究に関する情報公開の方法	ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画を閲覧できます。
個人情報の取り扱い	個人を特定する情報を含まない状態で解析しますので、個人が特定されることはありません。研究責任者がパスワードを設定したファイルにデータを記録し、磁気記録媒体に保存します。共同研究機関へはパスワードロックしたデータをインターネット経由で提供します。
問い合わせ先および苦情の窓口	*研究責任者 自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門 教授 小谷 和彦 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 電話：0285-58-7394 *苦情の窓口 自治医科大学附属病院 臨床研究センター管理部 電話：0285-58-8933